

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			根拠法令・例規等	水質汚濁防止法
事業開始年度	H17.3.22～			
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	02	自然と共生するまちづくり
	小項目	施策	01	環境保全
事務事業名		03	水質汚濁防止事業	
			問合せ先	担当課(室) 環境課
			職・氏名	保全係長・野坂俊哉
			電話	64-1822
			このシート作成に要した時間	3.5 時間

事業の目的	
対象 (誰・何に対して)	測定地点の水を利用する備前市民及び市内事業者
目的 (何のために)	農作物への被害防止や生活環境の保全を図るため。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	水質を保全し環境基準を達成する。市内各地の水質の状況を把握する。

事業の実績		
細事業名	事業の説明	優先度
水質調査測定事業	河川・湖沼・海域等で、定期及び臨時(異常発見時)の水質調査を行い、状況把握をする。	
測定機器整備事業	測定機の整備を行なう。	
岡山三川水質汚濁防止協議会負担事務	吉井川水系の水質保全と汚濁事故の未然防止に努める。	
目 的	苦情処理事務	河川・湖沼・海域等での水質汚濁に関する苦情を解決する。
を		
達		
成		
す		
る		
た		
め		
実		
施		
した		
事		
業		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	84,269	2,723	1,906
	必要人員人件費	千円	4.63人 29,270	0.55人 4,199	0.43人 3,598
	事業費	千円	113,539	6,922	5,504
	国県支出金	千円	83899		
	受益者負担金	千円	106		
財源	繰入金	千円	0		
	その他( )				
	一般財源		29,534	6,922	504
受益者負担比率		%	0.00	0.00	0.0%
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	環境水調査	説明	環境水調査		
	結果指標	事業	33	27	27
	対前年	%		81.8%	100.0%
	活動コスト	円	2,264,976	1,434,930	1,457,316
単位当たりコスト			68,636	53,146	53,975

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
環境基準超過回数	目標値(A)	30	24	24	20
	実績値(B)	47	20	16	到達目標値
	達成率(B/A)	63.8%	120.0%	150.00%	20
成果指標設定の考え方・式や説明					

環境水の水質測定で環境基準を超過した回数と目標値に対する比率  
 H20年度より「水質汚濁防止事業」を、水質汚濁防止事業と休止止鉱山鉱害防止事業に分けているので、平成18年～平成19年の事業実績より金額が大幅に下がっている。

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	A
	必要性	
効率性の評価	コスト	B
	手段	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	環境水調査をH21年度までは外部委託をしていますが、H22年度から市で調査に必要な物品を用意して担当課職員で実施することとした。						

総合評価		評価区分 <A-E>
外部委託から直営に移行し、大幅なコスト削減ができた。全市的に環境水の値が良好な状態になっている傾向が見受けられる。		B

平成23年度の方向性及び取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	事業の継続性は高いものなので、今後もコスト意識を持ち環境保全に努めていく。						

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意しながらかその数値目標を評価して下さる結果指標